

乾田直播栽培の経済性

福島県農業試験場経営部・平成7、8、10年春夏作試験成績概要

1 部門名 農業経営－農業経営－水稻直播 15－01－75296800

2 要 旨

浜通り地方北部地域は、冬期間の積雪が無く、春先にかけては場が乾燥し易く、乾田直播栽培で重要な播種時の碎土率が確保し易い地域であり、また、秋作業の適期幅が比較的広いことから大規模な水田経営が行える地域である。このため、当該地域は、県内の乾田直播栽培面積の4～5割を占め、乾田直播栽培の中心的地域となっている。

原町市において平成6～10年の5年間実施された水稻の乾田直播栽培実証試験から、当該地域における乾田直播栽培20ha規模を想定した場合の生産費等を算出し、その経済性を明らかにした。

その結果、10a当たり全算入生産費は、平成6年108千円、平成7年104千円、平成8年111千円、平成10年110千円(参考:平成8年移植栽培 158千円(米生産費統計))、及び60kg当たり全算入生産費は、平成6年14千円、平成7年12千円、平成8年13千円、平成10年17千円(参考:同上17千円)となった。また、直接労働時間は、大型農業機械の導入により、平成6年10.7時間、平成7年 9.5時間、平成8年 8.6時間、平成9年 7.9時間、平成10年 5.2時間(参考:同上32.7時間)と低減した。

以上のことから、乾田直播栽培は、(1)10a当たり全算入生産費は、移植栽培より約3割の低減が見込まれるが、現行開発技術体系では103千円台に止まり、(2)60kg当たり全算入生産費は、収量に左右されるが移植栽培より約2割程度の低減が見込まれるものの、現行開発技術体系では 12千円台に止まり、(3)大型機械等の導入により労働時間は削減されるが、費用合計の約50%は農機具費(農機具を耐用年数内として計算した場合)となり、(4)農業費は、移植栽培に比べ相当程度多く要することが明らかとなった。